

デジタル版導入を機に効率的な情報収集法を指導。学問と仕事の視野を広げていく

上野高校(三重・県立)

【活用キーワード】 >> オンライン進路学習 適性診断テスト 職業観育成

課題

地方都市で、大学生活や仕事をイメージしづらい生徒たちの視野を広げたい

活用

デジタル版活用法の指導とオープンキャンパス指導で、情報収集力を身につける

県の有形文化財である洋風の明治校舎がシンボルの上野高校は、創立122年の伝統ある進学校。2019年度からはSSHに指定され、普通科では地域企業や行政と、理数科では企業や大学の研究機関と共に地域課題に取り組み「みらい探究」を通じて、地域貢献や国際舞台で活躍できる人材育成を目指している。

「生徒の9割以上が大学に進学しますが、周辺に大学がない地方都市であるため、大学生活や将来の仕事がイメージしづらい、視野が広がらないことが当校の課題でした。そこでスタートしたのが、『なりたい自分・あるべき自分』を探究し、夢と志を実現していく『みらい探究』です。今年度から2年生に、進路教材の『スタディサプリ』デジタル版を導入したのも、生徒たちの視野を広げることが目的です」と、進路指導部主事の富澤要樹先生。

「進路学習にデジタル版を導入したのは、情報検索するなら、アナログよりもデジタルの方が圧倒的に便利だからです。自宅や部活の遠征先など、どこでも短時間で学部学科調べができるので、生徒たちが学問・仕事の視野を広げていくのに役立ちます。今年初めて導入する2年生には、デジタル版で適性診断を行い、その結果を参考に学校調べをして、資料請求をする。その中から興味ある大学を選び、『この大学の、この学科の、この点に興味をもちました』と各自がパワーポイントを使って要点をまとめ、プレゼンテーションを行い、オープンキャンパスにつなげていこうと考えています」と2学年主任の堀川直哉先生。そして、オープンキャンパス前には「見るべきポイント」を事前に整理しておくための講演会を行うという。

「大学側は自校のいいところをアピールするのだから、目的意識をもって大学を見てこなければ、自分が欲しい情報は得られません。進路学習でデジタル版を使うときも、スマホであまり調べものをしていない生徒たちは、効率的な調べ方がわかっていない。そこで、進路学習ではデジタル版の効率的な活用方法から指導をしていくことで、生徒たちの情報収集力を高めていく」と教員間で話をしています。

堀川先生を中心とした2学年の意見交換会は月1回。その中で積極的に意見を発信している川邊優治先生はこう話す。

「デジタル版の最大のメリットは、検索結果がすぐに出るので、その場で生徒と話ができることです。話をしながら、興味があること、疑問に思ったことをその場で調べる。こうしたことを繰り返すことで、すぐに調べる習慣づけもできます。また、学部学科を調べるときは、入試科目まで検索しておくことと選択科目を選ぶときの参考になるので、一歩先まで検索して視野を広げようと呼んでいます。生徒たちがどう変わっていくか楽しみです」

スタディサプリ for SCHOOL (進学事典デジタル版) 活用法

● 2021年2年次 活用プラン

5月 適性診断と学校調べ

これまでの「スタディサプリ進路」のラインナップを統合したデジタル教材『スタディサプリ for SCHOOL (進学事典デジタル版)』を使い、適性診断と学校調べを行う。

6月 資料請求を行い、興味をもった学校についてプレゼン発表

7月 オープンキャンパスの見るべきポイントについての講演会

オープンキャンパスワークシートを使い、参加当日に見たいポイント、聞きたいことなどを事前に整理しておく。

8月 オープンキャンパスに参加

9月 オープンキャンパスに行った学校についてレポート発表

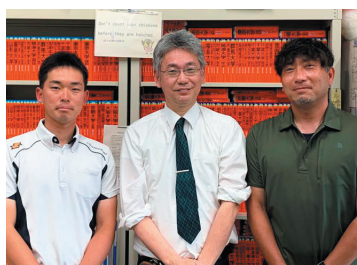
10月～ 学部学科研究

これまで集めてきた情報を整理し、学校詳細比較ワークシートに取り組む。

1月～2月 志望校決定宣言と志望理由の作成

● 生徒の活用法

1年の春にやった適性診断は、紙で時間がかかった印象がありますが、デジタル版の適性診断は、ゲーム感覚でサクサクいける感じが楽しかったです。性格タイプと、学問・仕事の適性分野がすぐにわかるので、LHRの時間内に自分のタイプに合った学校調べまでやりました。面白そうだな、自分の道が見えてくるかなあとまって資料請求したのは7校。何度でも検索できるので、便利だと思います。(2年7組 川崎彩菜さん)



右・2学年主任 堀川直哉先生(保健体育)
中・進路指導部主事 富澤要樹先生(世界史)
左・2年担任 川邊優治先生(数学)

School Data

創立1899年 / 普通科・理数科(ともに男女) / 生徒数814人(男子409人、女子405人) 進路状況(2021年3月実績) 大学233人、短大6人、専門学校等9人、就職3人、その他17人